直撃インタビュー

東北一人旅！

藍川北中学校3年

上野 颯さん

どんな出会いが待っているのだろう！

9月1日に「3.11を忘れない～柳ケ瀬meetsガレキとラジオ」の上映会がありました。これは、岐阜の人たちが、震災を忘れないことと東北の人たちとのつながりを高める目的で行われました。その後のステージイベントで、中学生が大人にまじって、一人で東北を旅した時のことを語っていました。それが上野さんでした。

そこで、あらためて上野さんに、５日間の「東北道中記」をうかがうことにしました。

この旅のきっかけは…

父のすすめで、一昨年も一人で静岡に行ったことがあります。今年は、「被災地を自分の目で見たい。」という思いが強く、東北に行くことに決めました。

母はとても心配していましたが、宿泊場所さえ決まれば、あとは自分で列車の時刻表を見ながら計画を立てるのはとても楽しく、出発前からワクワクしていました。

また、一昨年の旅で、静岡にある大井川鉄道の駅長さんに親切にしてもらったことがあり、それ以来、知らない人との出会いが楽しみになりました。

どんな出会いが…

まず仙台市では、観光課の方々と「伊達武将隊」4名に守られて、青葉城などの名所を案内していただきました。とても親切で、私一人だけのために、ずっと付いてくださいました。おかげで仙台が好きになりました。

女川町では、１時間に１本のバスを待つ間、駅前の店『針の浜屋』さんで、店の人と世間話をしたり、体験談を聞かせていただいたりしました。中でも、避難所で毛布１枚を５人で使っていたという苦労話も聞きました。それでも、出会った方々は明るく、力強く生活されていることを感じました。

心に残っていることは…

陸に打ち上げられた大きな漁船(※10月に撤去)を見たのですが、あまりのすごさに2時間以上もそこで立ちつくし、多くのことを考えさせられました。

また、いろんなものが、一瞬でなくなってしまった話や、支援物資が届くまで、飲まず食わずで救助を待ち続けていたという話を聞きました。そこから、「食」や身近にある当たり前のことを大切にしようと思うようになりました。

これからは…

人との出会いが好きなので、そのお手伝いができる旅行に関係した仕事をしたいです。その夢に向かって勉強中です。

旅先で出会った方々に、よせがきをしてもらいました。『針の浜屋』さんは、「全世界の方々に大きな声でありがとう！」というメッセージを書いてくださいました。

家族の声

出発前は大反対でした。何かトラブルに巻き込まれるのではないかとヒヤヒヤしました。それでも、帰ってきてからはたくましくなったようで、自信を持って行動したり、新しいことに挑戦したりしています。実際に、自分で見たり聞いたりしたことは貴重な経験だったようです。

家庭教育啓発市民運動「決めて、守ろう！『我が家のルール』」

平成25年度　家庭教育啓発市民運動
「決めて、守ろう！『我が家のルール』」作品審査結果

- 募集期間：平成25年9月～10月
- 募集対象者：市内小学校5・6年生児童及び中学校1年生生徒
- 募集内容：「我が家のルール」とそれに関する家族の様子や思いについての作文
- 評　　価：「我が家のルール」と作文の内容で総合的に判断
- 応募総数：3,392点
- 応募学校数：47校(小学校37校、中学校10校)

賞	学校	学年	氏名	我が家のルール（作文の題）
優秀賞	島　　小	5年	堀部　温大	帰る人や出かける人を玄関の外まで行って見送りをすること
優秀賞	鷺 山 小	6年	岩本　昂大	「行ってきます。」は元気な声で、「行ってらっしゃい。」は心をこめて
優良賞	岩野田小	5年	椿　　未来	週に一度、日曜日に家族全員でそうじをする
優良賞	鏡 島 小	5年	伊藤　麻衣	げんかんにくつをきれいにそろえて、つかうくつだけを出す
優良賞	芥 見 小	5年	水野　璃奈	ねる前には、家族全員に必ずあいさつをする
優良賞	西 郷 小	6年	松野　里保	木曜日は私が作るカレーの日
優良賞	藍 川 小	6年	松浦ことみ	家に帰ってきたときに「ただいま」と「おかえり」を必ず言う
優良賞	岐 北 中	1年	久世　優香	家族そろって朝食を食べる
佳　作	本 荘 小	6年	中島　陽香	毎日、お父さんに電話をする
佳　作	島　　小	6年	鈴村　健人	大事な試合や発表会がある時、家族が円陣を組んでかけ声をする
佳　作	長森南小	6年	埋橋てまり	家族全員で来年のジグソーカレンダーを作る
佳　作	網 代 小	6年	下村　帆香	家族で話の場
佳　作	青 山 中	1年	野村　有花	食事中はテレビを見ない
佳　作	岐阜西中	1年	長瀬　華奈	お風呂洗いを一人一人順番に洗う

優秀賞作品

《優秀賞》
我が家のルール　帰る人や出かける人を玄関の外まで行って見送りをすること
堀部（ほりべ）　温大（あつひろ）（島小5年）

田舎で親せきが集まって帰る時、いつも全員で家の外に行き、見送っています。

家でも毎日お父さんが会社に行く時に、ぼくとお母さんとで橋の上から見えなくなるまで送ります。ぼくは、赤ちゃんのころからお母さんにだっこされながらやっていました。

今でも、ぼくが学校に行く時、お母さんに見送ってもらいます。

なので、家では、帰る人や出かける人を玄関の外まで行って見送ることがあたりまえの自然なルールとなっています。

いそがしい時間でも、相手のために使う大切な時間だと思います。

《優秀賞》
我が家のルール「行ってきます。」「行ってらっしゃい。」は心をこめて
岩本（いわもと）　昂大（こうだい）（鷺山小6年）

ぼくの家族は、みんな出かけるときは、大きな声で「行ってきます。」と言います。この「行ってきます。」には、元気に出かけてねという意味がこめられています。

見送る人は心をこめて「行ってらっしゃい。」と言います。この「行ってらっしゃい。」には元気に帰ってきてねという意味がこめられています。

これからも、ぼくのこの「我が家のルール」をずっと続けていきたいです。

「行ってきます。」は元気な声で「行ってらっしゃい。」は心をこめて

毎月第3日曜日は「家庭の日」です。“家族でふれあう時間を大切にしましょう！”

岐阜市長良川ふるさと体験
キャラバン冬隊員大募集！

岐阜市子ども議会の「ゆるキャラ誕生！」

「岐阜市子ども議会」から、ゆるキャラが誕生しました！その名も“ コギイーン ”！市内小学 5・6 年生 31 名の参加者のアイデアをもとに、プロのイラストレーターの方に仕上げていただきました。あちこちに、岐阜市や議会（議場）に関係のあるものが使われています。分かるかな？！では、これからの登場を楽しみにしてくださいね！

編集後記

今回の直撃インタビューの上野さんは、「東北一人旅」を始めるにあたって、まず岐阜市の観光課に頼んで、仙台市の観光課に連絡を取ってもらっています。それによって、仙台市を案内してもらっています。そうやって、一人でも旅ができるように準備をしていたのです。自分の力で道を切り拓く強さがありますね。また、「出会い」を楽しみに旅ができるなんて、すてきですね。

第38号　平成25年11月30日発行
編集・発行
岐阜市教育委員会　中央青少年会館
〒500-8804　岐阜市京町3丁目19番地
TEL/FAX 058－266－5134

語り合おう夢！活かそう力！

小中学生のための地域情報発信誌

egg エッグ

えがお　げんき　ぎふっ子

2013 岐阜市青少年国際教育夢プロジェクト事業「夢inヨルダン」平成25年8月17日～24日

アンマン「ローマ劇場」にて

eggマスコットキャラクター
いのくっち

地域で輝く中高生

直撃インタビュー

藍川北中学校3年
上野　颯さん

特集

われら“ぎふまち育て隊”
～岐阜版アダプト・プログラム～

egg のホームページにアクセスしよう！
デジタルegg　検索
岐阜市ホームページ　http://www.city.gifu.lg.jp/

vol.38
2013.秋号

岐阜市発 情報発信誌

発行　岐阜市中央青少年会館